



2022 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 神奈川銀行
代表者名 取締役頭取 近 藤 和 明
(コード番号 非 上 場)
問合せ先 総合企画部主計室長 宮田 新悟
(TEL:045-261-2641)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022 年 5 月 13 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023 年 3 月期中間期(累計)(2022 年 4 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)

連結業績予想の修正(中間)

	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	500	300	67 円 28 銭
今回修正予想(B)	1,100	800	179 円 43 銭
増減額(B - A)	600	500	
増減率(%)	120.0	166.6	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2022 年 3 月期第 2 四半期)	628	410	88 円 02 銭

個別業績予想の修正(中間)

	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	500	300	67 円 28 銭
今回修正予想(B)	1,100	800	179 円 43 銭
増減額(B - A)	600	500	
増減率(%)	120.0	166.6	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2022 年 3 月期第 2 四半期)	627	409	87 円 87 銭

2. 修正の理由

当中間期につきましては、今後3年間に亘る中期経営計画「地域密着かなぎん 絆～あなたとともに～」の2年目となります。お客様本位の徹底、真のメイン化、収益力の強化をキーワードに、地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行を目指し、法人・個人のお客様に対するコンサルティング業務を積極的に推進しております。

当中間期は、貸出金増加による金利収入が増加したほか、お客様に最適な金融商品をご提案する投資型商品の拡充にも注力し、金融商品販売手数料も増加しました。

一方、経費削減にも努めた結果、当初予想を上回る着地見込みとなったことから、経常利益、中間純利益ともに上方修正するものであります。

上記の業績予想数値は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上